特別養護老人ホーム 個別状況調査票(記入例)

ハッピー愛ランドたむら

入居希望者 氏 名	田村 太郎	記入担当者名	00 00
事業所名	〇×居宅介護支援事業所	事業所連絡先	000 - 000 - 000

※該当するものにレ印の上、その状況をご記入下さい。

→ 12		- レ印の上、その状況をこ記入下さい。			
		□自宅で一人暮らしをしている □自宅で家族と暮らしている			
現在の居所		✓老健・サ高住などの施設や病院に入居 / 入院している			
		施設又は病院名(OO病院 に (平成)・令和 30 年 1月から)			
		口単身世帯、高齢者世帯であり介護する者がいないため			
		□介護する者が「障害」、「病気」、「高齢」等により介護することが困難なため ①			
7 1	居希望の	口介護する者が複数の家族の介護をしているため ②			
背		□介護する者が育児や家族の看病をおこなっているため ③			
Ħ	京 垤 田	□			
(≣	亥当するも	☑同居親族に協力者がいない ⑤			
\ п;	^ _	□同居以外の親族に協力者がいない ⑥			
全で	てを選択)	☑			
主くと医が		□施設や病院から退所(退院)を求められているため			
		□心説で病院がら返別(返院)を求められているため □その他())			
		□てめ他((特別な医療的対応) □なし □経管栄養 □胃ろう □経鼻 □喀痰吸引			
		(特別な医療的対応) - 日なし 日経官未養 日育づり 日経鼻 日格族吸引 - □在宅酸素療法 ☑インシュリン注射 - □人工肛門 - □カテーテル留置			
		□任七飯系療法 ♥ インシェリン注射 □八工肚 □ □ガリー ル歯値 □その他()			
医療に関する		(現病歴及び既往歴) ※発症時期が分かるものは年月も記入ください。			
状	況	昭和62年 高血圧、高脂血症			
		平成 16 年 胃がん (2/3 切除)			
		平成 18 年 アルツハイマー型認知症			
		 主治医 病院・科目 〇×クリニック 主治医名 椚山 次郎			
		図知症草齢者の			
		日常生活自立度 IV に対している。 日常生活自立度 A 1 に対している。 人においている。 日常生活自立度 A 1			
認失	旧症の状況	│□該当なし ☑徘 徊 □不潔行為 ☑不穏行動 □自傷行為			
此五	ے	□暴力行為 ☑昼夜逆転 □異食行動 □火の不始末 □被害妄想			
頻	度	□その他()			
		□ほぼ毎日 ☑週 3~4 回程 □週 1~2 回程 □月数回程			
	飲水食事摂	_取 □自立 □見守り ☑一部介助 □全介助 ※むせり ☑あり □なし			
		☆トロミ使用 ♥ あり □なし ※食事形態(ミキザー食)			
日	排 尿	□自立 □見守り ☑一部介助 □全介助			
常	排 便	□自立 □見守り ☑一部介助 □全介助			
生	入 浴	□自立 □見守り ☑一部介助 □全介助			
活	歩 行	✓自立 □見守り □一部介助 □全介助			
	移 乗	□自立 □見守り □一部介助 ☑全介助 ※移乗方法(タオル用いて2人にて)			
介 ##	転 倒	□なし ☑あり ※頻度 □ほぼ毎日 ☑週 3~4 回程 □週 1~2 回程 □月数回程			
護	転 落	□なし ☑あり ※頻度 □ほぼ毎日 ☑週 3~4 回程 □週 1~2 回程 □月数回程			
に	使用してい	る			
関	福祉用具	※その他(電動ベッド 置き型手すり スロープ)			
すっ	衣服着脱	□自立 □見守り ☑一部介助 □全介助			
る 状	視力	□普通 ☑ やや見えにくい □かなり見えにくい □全く見えない			
汉	<u></u>	□普通 ☑ やや聞えにくい □かなり聞えにくい □全く聞えない			
沉	意思の伝達				
	内服薬	□なし ☑あり→ □自立 □見守り □一部介助 ☑全介助			
	ער ניו				

※1: 在宅サービスをご利用の方につきましては、直近のサービス利用票及び別表の写しを添付して下さい。 ※2: 認知症の状況並びに介護に関する状況につきましては、認定調査員テキストを参考にご記入下さい。 ※3: 要介護1及び2で申込まれる方は、【特例入所の要件に係る介護支援専門員意見書】を添付して下さい。